

4. 事例の中で使用された教材一覧
(1) 標準教材及び千葉県制作 DVD

4. 事例の中で使用された教材一覧

(1) 標準教材及び千葉県制作 DVD



認知症サポーター養成講座
標準テキスト



認知症サポーター養成講座
小学生用副読本



認知症サポーター養成講座
標準 DVD



千葉県制作 DVD
「支えあう認知症ケア」

【問い合わせ】
各市町村認知症サポーター養成講座事務局
千葉県健康福祉部高齢者福祉課 在宅福祉推進室

(2) 寸劇台本

① 君津市

【認知症サポーター養成講座小学生用寸劇原稿】

『財布がない編』

ナレーション:ある日、おばあさんが「私の財布が見つからない。お母さんが盗んだんだ!!」
など、とんでもない事を言い始めました。
お母さんも、私たちがびっくり!!

ひろし君 :「 おばあちゃん なにいつてるんだよ～ お母さんが盗む訳ないよ
おばあちゃん ボケちゃったのかなあ～」

ゆりこちゃん:「 おばあちゃん どんな財布? 何色の財布? 一緒に探してあげる 」

じゅんこちゃん:「 お母さんはそんなことしないよ!
おばあちゃん 変なことってえ～
おかしいこと言うね お母さん 」

※おかあさんに訴える。

ナレーション:ゆりこちゃんのように、おばあちゃんと一緒に財布を探すということがとても大切です。

『徘徊編』

ナレーション:買い物の帰り道、何だか不安そうに歩いている おじいちゃんに出会いました。どうしたのでしょうか?

ゆりこちゃん:「 おじいちゃん 一人で歩いていると 危ないよ
早く帰ったほうがいいよ 」

じゅんこちゃん:「 おじいちゃん どうしたの? どこから来たの? ひとり?
道がわからなくなったの? ここ〇〇小の近くのの? 」

4. 事例の中で使用された教材一覧
(2) 寸劇台本 ①君津市

ひろし君 : 「おじいちゃん どこからきたの? 住所いえる?

おじいちゃん △△ だよ」

「△△なら 僕知っているから、一緒に行こう～」

※おじいちゃんの手を引き、一緒に歩く。

ナレーション : ひろし君の案内でおじいちゃんは無事に家につけたでしょうか?

子どもたちの中で一番良い対応をした子は誰でしょうか?

みなさんがもしもこんな場面に出会ったら、ひろし君の対応を思い出して
くださいね。

『朝ごはんを食べていない編』

ナレーション : おじいちゃんは、家族全員でご飯を食べていました。

それなのに、「私はまだ朝ごはんを食べていない! 早く作ってくれ!」といい
だしました。家族もびっくり!!

ゆりこちゃん : 「食べたのに忘れちゃった? 少し変だよ お母さん・・・」

※おじいちゃんを指さしながら お母さんに言う。

ひろし君 : 「さっき食べたばかりじゃないかよ～」

※呆れた言い方。

ゆりこちゃん : 「もう一回食べたいのかなあ～

おじいちゃん まだ食べていなかったの? 」

※おじいちゃんに 優しく聞く。

ナレーション : 認知症が進行すると、さっき食べたことも忘れてしまいます。

叱るのではなく、優しく接することが何よりも大切なことです。

【問い合わせ】

君津市高齢者支援課地域包括支援室

TEL : 0439-56-1732 / FAX : 0349-56-1737

4. 事例の中で使用された教材一覧
（2）寸劇台本 ②佐倉市

② 佐倉市

【問い合わせ】

佐倉市高齢者福祉課包括支援班

TEL：043-484-6138 / FAX：043-486-2503

（劇団南座）

佐倉市志津南地区社会福祉協議会

TEL：043-460-1782

【子ども認知症サポーター養成講座】

認知症啓発劇

「お家はどーですか？」

【上演】平成24年11月29日 佐倉中学校

平成25年1月18日 上志津小学校

【出演】佐倉市志津南地区社会福祉協議会 劇団南座

佐倉市立上志津中学校 演劇部

出演者 うめ（認知症の人）
 通行人（3人） ① ② ③
 警官
 通りがかった中学生（3人） A（女子） B（女子） C（女子）
 ナレーター（上中演劇部）
 テープ（防災佐倉） （照明も）

（ナレーション）

皆さん、こんにちは。皆さんは認知症という言葉を知っていますか。これから始まる寸劇は、酒々井町に住んでいる73歳のうめおばあちゃんのお話です。

うめおばあちゃんは、若いころから大変、働き者で70歳まで「ニコニコパン屋」を酒々井公園の近くでやっていました。近所の子どもたちからは「ニコニコおばあちゃん」と親しまれていましたが、3年前にパン屋をやめてからは、のんびりと近くの仲間とグラウンドゴルフを楽しんでいました。

今日は日曜日、いつものように近くの公園へグラウンドゴルフに出かけました。

ところが、お昼を過ぎてもおばあちゃんは家に帰ってきません。家の人は心配していました。

（防災佐倉のチャイム）

（テープ）こちらは防災佐倉です。平成24年11月29日午前0時頃から、酒々井町において、73歳の女性が行方不明となっております。特徴は、身長158センチ・体重54キロ、中肉中背で髪は茶色で短め、服装は黄緑色のシャツとトレーニングパンツを履いています。見かけた方は、佐倉警察署または交番までご連絡ください。捜索には協力をお願いします。こちらは防災佐倉です。

(うめ 上手からゆつくりと周りを見回すように出てくる。大きめの荷物(タオル、上着が入っている)とグラウンドゴルフのクラブをもっている。中央まできて)

うめ ここはどこなんだろう。(上手方面に戻り、きよるきよるする)

(通行人①・② 下手から出てくる。話しながら中央までくる)

通① 寒くなつたわね。

通② (マスクをかけている) 私も風邪をひいたみたいなの。これから病院に行くのよ。本当に寒はとりたくないわね。

うめ (急いでかけ寄り) すみませんが、あの……

通①② はあ。なんでしょう。

うめ (二人の顔をジロジロ見ながら、ちがうちがうと頭を振る) どうもすみません。(独白) 知らん人だな……

(通①② 上手に向かい歩き始める。振り返って)

通① 何かジロジロ見てるわよ。ちょっとおかしいのかしら?

通② そ、お? 元気そうじゃない。グラウンドゴルフのクラブなんか持っているわよ。私、急ぐから。

通① 忙しいわね。行きましょう。

(通①②、上手に出ていく)

うめ あー お腹がすいたな。もうお屋がな!

(思い出すように) さっき、みんなでグラウンドゴルフをしてと・「きよるなら、また明日」って言ったな

(座り込んで頭をかかえる)

通③ (買い物の袋をさげて上手から出てくる。すぐに立ち止まり、ちよつと変だなという表情でうめを見る。うめを見ながらゆつくり通り過ぎて下手手前でもう一度立ち止まり、振り返ってうめを見る)

うめ (立ち上がって) あ、あの人がこっちを覗いているわ。いつも行くラーメン屋の小沢さん! かな?

通③ (うめを見るのをやめて下手に出ていく)

うめ あれ、横向いて行ってしまったよ。まちがいか。 (肩を落とす)

いつもとなりの民子ちゃんといっしょに帰るのに。今日は休みだよ。あー 疲れた。家に帰りたい。(泣きそうになり、座り込む。そこへ部活帰りの中学生3人、下手から話しながら通りかかる)

中A ホエ、そういうわけよ。それって信じられる? 信じられないわよね。

中B 本当。

(うめに気づき3人、立ち止まる)

中C ね、あの、なんか変じゃない? なにかを探してる様子だよ。

中B どういうことさ。

中C だって変だよ。さっきから、通る人に何か言いたそうにしてる。でもみんな知らん顔で急いで行ってしまっしよ。何かあのおばあさん、がっかりしてるよ。かわいそう!

中A そうかなあ

中B 何か荷物を持っているよ。やつは変な人かも。

(3人、通り過ぎるが歩き始めるが気にかかり、立ち止まって振り返る)

中C そうかもしれないけど、わたしにはあの人が助けを求めているようにもみえるな。

中B なんか気になるんだよね…

中A ねえ、この間、学校で「認知症サポーター養成講座」って受けたじゃん。ねえ、あの時の話に似てない？ もしかしてあのおばあさん、「家がわからなくなつたのどちがう？誰か知ってる人を探しているんじゃないかな。認知症って生活の全部がわからなくなるんじゃないかと、ところところおかしくなつていくんだって、そう言ってたじゃん。さっきも防災無線で行方不明者を探してたし、きこつたよ。

(全員、無言。頭を突き合わせる)

中B (こぶしをつくり) そうだよ。聞いてみようよ。…やっぱ勇気ないな。

中A よーし、みんなで行こうよ。私が声をかけるからさ、みんなも手伝ってよ！

(うめに近づき) おばあさん、どうかしましたか？

中B・C (少し離れて 小声で) どうかしましたか？

うめ えっ (あわてて) あんたたち、孫の友だちかい？

中A (手を横にふり) ち、ち、ちがいますよ。何か探してるんじゃないかと思つて。

うめ 孫の友だちかと思つたよ。ちがつたんか。(肩を落とす)

中B (小声で) 何か困ってるんだよ。あわててるし。ちよこちがう聞き方してみようよ。おうちはどこですか？

中C そうしてみよう。おうちはどこですか？

うめ (にっこりして) 私の家は酒々井ですよ。

中A・B・C (皆びつくりして) え？！

うめ すぐその角を曲がってまっすぐなんですよ。あーあ、疲れました。

中C おばあさん、ここは田井だよ。歩いてきちゃつたのかな。

(3人頭をかかえて)

中B きこつて、迷子になつたんだよ。誰か大人の人に話してみようよ。

中C わたし、探してくるよ。(急いで下手に飛び出していく)

中A 交番が近くにあるといいね。カホちゃん、だいじょうぶかな。

中B だいじょうぶよ。足が早いし、すぐに帰ってくるよ。

(C、警官といっしょに、下手からかけてくる)

(うめ、座り込んで足をさすっている)

中C おまわりさんもいっしょにきてくれたよ。

(警官、うめを見て、手帳を出して髪の手、服装等を確認する)

警官 うん。まちがないな。うめさんですね？(うめ うなづく) 今日は大変でしたね。この中学生が迷子になつて
いる人がいると知らせてくれたのですよ。お家の人にも連絡しましたから、もうだいじょうぶですよ。すぐに迎えに
きてくれますから安心してくださいね。

うめ 二親切に。あなた、どなたですか？

警官 私は、近くの駐在所の山田です。この中学生たちが心配してくれたんですね。お家の人が来るまで、駐在所で休ん

でいしょう。

うめ どうもありがとう。

(3人の中学生を見渡し) あなたたち、中学生かい？ありがとう、ありがとう。やさしい人たちだね。

(うめ、手を振って警官といっしょに下手へ出ていく)

中A・B・C (手を振りながら) まよなら。(上手に出ていく)

中B よかったね、おぼあちゃん。思い切って声をかけてよかったね。

中A じゃあ、行こうか。(3人、上手に出ていく)

(ナレーション)

皆さん、どうでしたか？ 誰でも歳をとると少しずつ分からないことが多くなってきます。うめおぼあちゃんのように、おうちに戻る道が分からなくなっても、私たちのように、勇気を出して声をかけ、大人に知らせたりすることで、みんなが歳をとつても住み慣れた町で楽しく生活してゆくことができると思います。

私たち中学生は、これからも地域の人たちといっしょに認知症の人をよく理解し、助け合ってゆきたいと思います。

きょうは、ありがとうございました。